

平成30年度 第8回 新道区地域協議会 次 第

日時：平成30年12月13日（木）午後6時00分から
会場：新道地区公民館 多目的ホール

延 約30分

1 開 会

2 議 題

【25分】

（1）自主的審議事項

- ①市関係課からの説明を受けてのフリートーク

3 その他

【5分】

（1）次回開催日の確認等

4 閉 会

新 道 区 の
アイコトバ

- ◎ 発言は、簡潔に話そう！
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう！
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう！

**平成 30 年度第 6 回新道区地域協議会
「自主的審議事項」に関する発言要旨**

自主的審議事項	新道区内における公の施設(芙蓉荘・新道地区公民館・富岡児童館 等)の老朽化と今後の整備について
----------------	---

<p>開催日時：平成 30 年 10 月 16 日 (火) 午後 6 時 30 分から午後 7 時 40 分まで</p> <p>開催場所：新道地区公民館 多目的ホール</p> <p>事務局：行政改革推進課：今井課長、秋山施設経営改善係長 農村振興課：沢田副課長、関主事 社会教育課：川上参事、横手副課長 中部まちづくりセンター：本間センター長、野口係長、田中主事</p>

表の見方
質問・回答の主旨
上記発言の背景

行政改革推進課①

<p>【浦野副会長】 第 6 次総合計画において新道区の具体的な構想は何があるのか。新道区に係る青写真、具体的な話を知りたい。</p>
<p>○芙蓉荘や新道地区公民館は非常に古い建物である。また、県立武道館の新設や謙信公大橋の開通により、商業圏域が拡大している。それらを含め、市ではどのような捉え方をしているのか。 (例…県立武道館への交通アクセス等の面では上越安塚柏崎線や板倉直江津線だけでは賄いきれない。交通面での懸念が更に生まれる。)</p>



<p>【今井課長】 行政改革の一環として、新道区で具体的な取組はない。</p>
<p>○交通アクセス等に関しては行政改革推進課としてはお答えしかねる。</p>



<p>【浦野副会長】 行政改革推進課としてはタッチはしていないということか。</p>
<p>○私は、第 6 次総合計画審議会の委員を担ったことがあるが、その際、富岡インターチェンジ周辺の地区は高速道路のゲートの役割を果たすことから、青写真のようなものがあつたと記憶している。</p>



<p>【今井課長】 まちづくりをどうするかについては担当課と連携して考えていくことになる。</p>
<p>○我々が担っている部分は、第 6 次総合計画の下支的な役割であり、この計画を実現するために仕事のやり方を効率化する、使われていない公の施設を廃止する、経費を削減する等の仕事を行っている。</p>

行政改革推進課②

【船崎委員】

子どもの家について、最終的には市から離すとの考え方で良いのか。

○以前、新道区にも子どもの家があった。現在はそれぞれの地区におろされている。

【今井課長】

町内会に譲渡し、全て完了している。

【船崎委員】

新道地区公民館や芙蓉荘についても町内会におろすことは考えているのか。

○鴨島のかも子会館では、市から管理人への手当が5年間と決まっている。基本的に5年間経過後は町内会におろし、町内会で自由に使用できるようにすると思う。

【今井課長】

地元で譲渡できる施設から協議を始めている状況である。

○やり方は施設の規模により変わってくる。芙蓉荘は非常に大きな施設であるため、町内会での維持管理は難しいと考えている。

○あまり大きくない多目的研修センターのような施設で地元の町内会に譲渡できる施設については協議を進めている。

農村振興課

【船崎委員】

芙蓉荘については避難施設になっているのか。

【沢田副課長】

現在、避難施設には指定されていない。

○建物本体の耐震基準には問題はないが、玄関ポーチとボイラー煙突が基準を満たしていないこともあり、現在は富岡小学校が避難施設となっている。

【浦野副会長】

- ①(説明で)「耐震性は大丈夫」と言っていたが、意に反している。本当に本体に問題がないのか疑問だ。
- ②補助金により制限されているという「修繕の方法」を模索してほしい。
- ③芙蓉荘を含めた周辺の一等地を何とか良い方向に進めてほしい。

①

- ・第6次総合計画の審議委員会資料には市内の16の貸与施設中、芙蓉荘が16番目に位置付けられ、耐震構造がゼロと記載されているが、先ほどの説明で芙蓉荘の建物本体は大丈夫との発言があった。
- ・以前は芙蓉荘が避難所になっていたが、耐震構造を満たしていないため市から変更の申し出があった。
- ・屋上は錆びているため怖くて歩くことは出来ず、裏の階段も錆びている。

②

自分たちも何度か市に要望したが、農林水産省の補助金が用いられているためにあと数年は手が付けられないとの回答であった。しかし、「やり方は他にもある」と言っている県や市議員もいるため、今後の課題としてほしい。

③

芙蓉荘の隣に「デイホームひだまり」があるが、もう何年も空き家となっている。隣には富岡保育園があり、ゲートボール場もある。もう少し広い施設にする等、何か考えてほしい。

【沢田副課長】

- ① 耐震診断では、建物の本体は耐震基準に合致している。
- ②③大きな問題意識を持っている。市全体の中での優先順位や財政的な問題もあるため担当課等と相談しながら進めていきたい。

①建物全体の中で一部でも耐震基準を満たしていない箇所がある場合はゼロ点になる。それだと、芙蓉荘全体がゼロ点、耐震はないというふうになってしまうために表示の仕方が誤解を与えてしまう部分もある。

②③

地元の方からの話を聞き、要望として市として受け止め、今後の課題として考えていきたい。

社会教育課①

【船崎委員】

収入の部分を見ると大変に少ない。使用料も低くしてあるのだと思うが、使用料を上げる等の計画はあるのか。

○昔はそれぞれの公民館で盛んに様々な活動・催し物をしていたが、市も財政的な問題もあり、そのような活動は一切行っていないと思う。



【川上参事】

使用料は市が統一した基準で設定し、条例で定められている。(減免を含め)使用料が低めに設定されている。

○公民館は、住民の文化教養活動、地元地域の課題解決、民主的な社会の形成という大きな目的を持っている施設である。

社会教育課②

【船崎委員】

備品購入や維持管理に予算がかかると思うが、備品類は昔のままのように感じる。それらをどのような位置づけで考えているのか。

○資料を見ると、ドアの取替、ベランダの塗装等を検討するにとどまっている。



【川上参事】

修繕については、対症療法的に対応している。備品については、既存のものを最大限に利用し、足りないものは予算要求して新規に購入している。

○希望があれば閉館した他の建物から流用している。他の館では閉校した学校からピアノを流用したこともある。

社会教育課③

【浦野副会長】

新道地区の公民館としている多目的センターは、耐用年数が 20 数年残っているが、今後
も修繕しながら維持していくのか。

- 耐用年数が 20 数年残っているが、現在の場所は冬になると雪で駐車スペースも少なく、
道幅も狭いため集まるには大変な場所である。
- 耐用年数を見た上で、新しい施設の新設は計画として盛り込んであるのか気になる。

【川上参事】

老朽化・立地条件・周辺の環境の変動等も考慮して、順番を決めて地域住民
と相談していくこととしている。

- 地区公民館は各地域自治区に 1 か所ずつ配置する基準を設けている。合併
前上越市全体を見回すと、新道地区公民館はまだ程度が良い方である。未
だに木造 2 階建ての耐震基準を満たしていない施設もある。

【浦野副会長】

地域住民にしてみれば 1 つの拠点であるため、青写真として示して
ほしい。

- 合併前上越市の中には下には下があると思うが、13 区の公民館の
中には、清里区や頸城区等、素晴らしい公民館活動施設もある。

全体（次回に向けて）

【浦野副会長】

- 村山市政発足後、2 年目にオラレ上越がオープンしたため、新道北部地区で市長あて
に要望書（内容は芙蓉荘を中心とした財源について）を提出した。
- そのため、次回、産業振興課からそれらを踏まえての話があることを期待している。
- おそらくオラレ上越からは毎年約 1.5 億円が市の財政に入っている。
- そのため、金額に見合った地域への還元があるか否かについて、産業振興課では青
写真として載っているのであれば良いが、次回に向け期待をしたい。

平成 30 年度第 7 回新道区地域協議会

「自主的審議事項」に関する発言要旨

開催日時：平成 30 年 11 月 20 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分まで

開催場所：新道地区公民館 多目的ホール

事務局：学校教育課：手塚副課長、小林副課長

こども課：宮崎課長、牛木副課長

産業振興課：宮崎課長、平原産業政策係長、山崎主事

企画政策課：大島副課長

行政改革推進課：今井課長、秋山施設経営改善係長

中部まちづくりセンター：本間センター長、野口係長、田中主事

こども課①

【船崎委員】

新道地区内に富岡子育てひろば以外に子育てひろばはあるのか。

また、今後、他につくる予定はあるのか。



【こども課 宮崎課長】

なかよし保育園の中に 1 か所ある。また、近隣のオーレンプラザ内にあるこどもセンターも類似した施設である。

また、今後、他につくる予定はない。

○平成 32 年度に策定を予定している上越市版エンゼルプランの中で、子育てひろばについての見直しを考えている。

こども課②

【船崎委員】

富岡児童館について、修繕等は実施しているのか。

○築年数が 52 年となっているが、調査票記載の耐用年数には 22 年とある。耐用年数が 30 年以上も超過していることになる。



【こども課 宮崎課長】

耐震工事は実施済みであり、不備があった場合はその都度対応している。

○今年度は屋根の修繕も行ったところだ。



【船崎委員】

今後廃止することも有り得るのか。

○調査票に「施設も老朽化していることから、今後の在り方について検討している」との記載がある。



【こども課 宮崎課長】

現在検討しているところである。

○施設の老朽化については課としても懸念しており、今後方針が決まり次第、改めて説明したい。

こども課③

【浦野副会長】

小学校に出向いた際に駐車する場所がない。以前、駐車できずに児童館前に駐車したら注意された。市の縦割り行政の悪い面が出ている。駐車場について配慮してほしい。

○冬場になると小学校体育館の屋根から雪が落ちてくることもあり小学校教員も駐車スペースを確保することが困難になる。

【こども課 宮崎課長】

今後、教育委員会と協議していく。

こども課④

【有泉委員】

なぜ子育てひろばを新道地区内の中央に配置しなかったのか。
また、位置的な問題についてどのように考えているのか。

○新道地区で考えると、富岡は地区内の外れの方である。富岡では利用困難な市民も多くいると考える。

【こども課 宮崎課長】

地元だから富岡児童館を利用するというのではない。
また、利用者からは、広い遊戯室を目当てに利用しているとの声も聞いている。

○利用者に確認したところ、徒歩での利用は少なく車での利用者が多かった。
また、日によって、富岡児童館だけではなくオーレンプラザやなかよし保育園を利用しているとの意見や、遊戯室が非常に広いため利用しているとの意見もあった。

【有泉委員】

そもそも、子育てひろばの目的はどのようなものなのか。

【こども課 宮崎課長】

保育園入園前の子どもと親と一緒に過ごす場である。

○共働き家庭の子どもについては、保育園に入園した子どもとなり、子育てひろばの利用はないことになる。

こども課⑤

【浦野副会長】

こども課は、富岡児童館の利活用を小学校や保護者に PR しているのか。

○自分は長年富岡小学校の PTA 役員をしていたが、小学校から児童館の話を聞いたことがない。児童が学校帰りにランドセルを背負ったまま利用するのではなく、一旦帰ってから利用するようにとの話は聞いたことはあるが、子どもや保護者が児童館の活用を理解していないように思う。調査票を見ると、平成 30 年度は利用者が 6 人となっているが、持続性に繋がるのかも含めて、どのように考えているのか。

○最近では家に籠った生活が多く、あまり子ども達は外には出なくなっている。そのため、富岡児童館のように行政で運営している施設をもっと PR すべき。

【こども課 宮崎課長】

指摘にあるように、学校を通じた PR はしていない。今後検討したい。

学校教育課①

【船崎委員】

今後、富岡小学校内に児童クラブを設置した場合も職員 2 人で対応が可能なのか。児童数の多い他の児童クラブではどうなのか。



【学校教育課 小林副課長】

職員 2 人と日々雇用職員 1 人の計 3 人で運営している。

また、夏休み等はさらに 1 人追加し 4 人体制で運営している。

○放課後児童クラブの人員配置については国から指針が出ており、40 人の定員に対して、2 人以上の支援員を置くことされている。

○支援員に関しては、保育士・学校教員・社会福祉士等の有資格者や、資格等を所持していなくとも児童クラブや保育園運営に 5 年以上携わった経験のある人材等も採用している。

学校教育課②

【船崎委員】

例えば、富岡児童クラブとして利用している富岡児童館が老朽化により今後使用できなくなった場合、今後の計画はあるのか。



【学校教育課 小林副課長】

現在、検討段階である。

○今後は民間に委託することも視野に入れて検討していかなければいけない。



【船崎委員】

民間に委託するより、せつかくある現在の施設を新しくして利用を継続していけば良いと考える。

学校教育課③

【船崎委員】

日曜日の勤務がある保護者の児童についてはどのように考えているのか。

○利用案内には「平日・土曜日・長期休業日等の利用」とあるが、仕事によっては日曜日の勤務がある保護者もいると思う。市としては、日曜日には親は家にいるとの考えなのか、または休日に利用できる別の施設を用意しているのか。



【学校教育課 小林副課長】

どのようにするか検討している状況である。

○日曜日の開設に関しては、保護者からも意見や要望が出ている。市内 51 全ての小学校等で開設するのではなく、どこかに集約して開設することも視野に入れて検討している段階だ。

学校教育課④

【有泉委員】

放課後児童クラブについて、PR活動はどのようにしているのか。

【学校教育課 小林副課長】

主に新1年生の保護者への周知を行っている。在学中の児童については、新年度前や長期休業前に学校を通して利用案内を配布している。

○新1年生には、保育園にチラシを配布したり、就学相談や移行学級の際に案内をしている。

学校教育課⑤

【船崎委員】

保育園児も同様の活動をしているのか。

【学校教育課 小林副課長】

保育園については延長保育があるため、そこをお願いしている。

学校教育課⑥

【有泉委員】

全国水準的にはどうなのか。

○子育てをするのであれば上越市が良いと全国的に思われるような放課後児童クラブ事業にしてほしい。

【学校教育課 手塚副課長】

上越市では待機児童がない。保護者のニーズに合わせた中で運営をしている。

○各自治体によって様々な考え方があり、民間が主体となって行っている自治体もある。

○新潟市のような大きな市では公営より民営で行っているほうが多いところがある。長岡市については、児童館と一緒に設置している。

○自治体によりケースが異なるため、一律に比較することは難しい。

【こども課 宮崎課長】

上越市では妊娠期から18歳まで、切れ目のない子育て支援が充実している。今後、エンゼルプランの中で、更に充実した支援を検討していきたい。

○7月には学校を通じて子ども達の貧困対策の実態調査を実施している。エンゼルプランには、現在足りていない支援や必要な支援を盛り込んでいきたい。

学校教育課⑦

【浦野副会長】

放課後児童クラブ・子育てひろばについて、公の施設が他にもあるため、もう少し地域を見てもらい、公の施設をもっと活用するような方向性を見出してほしい。

場所等はいくらでもあると思っている。もっと的確に物事を考えるべきだと思う。

産業振興課①

【浦野副会長】

説明で「オラレ上越の収益を市の一般財源として使用している」とあったが、開業当初の説明とは違う。地域が要望した内容を無碍に扱っているような状況である。1億4千万円もの収益が一般財源としてどこに使用されたのか。

- 当時、町内で3回の臨時総会を開き、町内の意向として「開業を良しとする」との意見を市長に答申した。
- 開業後の環境委員会では、自分は委員でもあったため、当時の副課長に対して「オラレ上越での収益を富岡地域に還元してほしい。学校区に目を向けた提案をしたいと考えているため、協力をお願いする」と発言した。
- それに対して「可能な限り協力したい。皆さんの地域をどうしたいのか意見を提案してほしい」と回答があった。その回答を受けて、新道北部の10町内会長からの意見を基に市に要望書を提出した。
- 先ほどの説明では、「市としては要望書を受け取っていない」とあったが、確かに市長あてに要望書を提出した。内容は、先ほども話に出したが、一般財源として富岡児童館・芙蓉荘・富岡保育園等について、町内に対してだけではなく富岡小学校区に対し、オラレ上越の収益の一部を目に見える形にして使ってほしいといったものである。しかし、オラレ上越での収益をどこに使っているのか等の報告は開業後一切ない。
- さらに、芙蓉荘西側にあった老人保健施設は市で管理・運営することが出来ず、社会福祉協議会に管理・運営を依頼したものの断られ、結果して現在は空き家となっている。

【産業振興課 宮崎課長】

地域の要望について、当時の課長に確認をしたが、直接の要望としては受けておらず、現在、形となったものは持ち合わせていない。

しかし、「地域にオラレ上越があるため地域の環境に配慮してほしい」との意見は環境委員会でも受けている。

一般財源の用途については、様々な地域で色々な形で用途に関係なく使用する財源としている。

市全体の財政を考えた中で、地域協議会の中では要望ではなく、地域を良くするためにはどうしたら良いのか、地域で何が必要なのかを協議してほしい。

- オラレ上越の収益は、一般財源のため富岡地区にのみ使えるものでもなく、市で様々な施設や道路等をつくることに用いている。道路も優先順位を付けてつくっている状況である。
- 以前のように歳入が裕福にある時代ではないため、少ない予算をどうしたら有効に使えるのかになる。

【浦野副会長】

一般財源として富岡地区のみにオラレ上越での収益を使用してほしいわけではない。

新道北部地区の町内会長の意見は皆自分と同じである。一般財源というものの捉え方をもう少し考えてほしいと考えている。

オラレ上越が出来ることにより様々な心配もあったが、市としてはこのようなことで還元しているといえるような、目に見えることが何もないように思う。

- 当時の副市長にも要望したが、要望に対しての回答が返ってきたのはつい

最近のことである。それは、芙蓉荘については当時の農林水産省からの補助金や助成金で建てた施設であるため、残りの先5年間は手を付けることが出来ないと回答であった。しかし、そのようなことを我々は要望している訳ではなく、収益を一般財源として扱うことは良いが見えるような用途を希望している。

○オラレ上越から派遣された警備員が小学校付近に立っており、防犯パトロール等は地域が行っている。しかし、市としては何をしているのか分からない。



【産業振興課 宮崎課長】

課としては、様々な地域があり、様々な施設があり、それぞれに必要なものがあると考えている。

地域の中には地域協議会や町内会、青年会等の様々な組織があり、協議の中で、地域で出来ることは地域で行い、出来ないことは要望する等の議論が出来れば良いと考えている。

産業振興課②

【船崎委員】

中郷区にもオーパス中郷という場外馬券場があるが、このような施設の新設計画はあるのか。



【産業振興課 宮崎課長】

現在、そのような計画はない。

オラレ上越については、府中市より打診があったと聞いているが、上越市としては積極的に誘致するような考えはない。

企画政策課①

【船崎委員】

新道地区は寺インターが基幹になるのであれば当然、縦と横の道路も整備しなければいけないと思うが、市だけではどうにも出来ないため、県からもどうにかしてほしい。特に、今後完成する県立の武道館までの道もあるし、他にも危険な箇所は多くある。これらを計画の中で考えてほしい。

○公共バスの拠点が高田駅となっているが、現在、高田駅周辺には商業施設がほとんどないため、ゲートウェイとなっている上越妙高駅周辺やイオン周辺を拠点とした方がよい。(しかし、市としては第6次総合計画の中にこのような記載がないため、予定や考えはないと思う。)

○国道18号についてだが、現在の寺インターではなく、富岡インター付近を整備して乗り降り出来るようにしてはどうかと考えている。(しかし、計画を見ると既存のモノを再利用するといった形のように思われ難しいと思う。)

【企画政策課 大島副課長】

現在の計画は、平成34年度までの8年間分であり、その中では、中心市街地である高田・直江津は外せないものと考えている。

今後、上越妙高駅周辺を拠点とする時代が来る可能性は高いと思うが、民間での動き等も見据えながら、適正な土地利用を促していきたい。

企画政策課②

【浦野副会長】

ゲートウェイというものを考えてほしい。

○北陸自動車道の上越インターチェンジや上越魚沼地域振興快速道路の寺インター、県立の武道館設置という中で、交通の流れが変わってくると思う。

○その中で、高速道路を潜った富岡や藤野新田、また、下門前から蟹池交差点までの県道が、土日祝日は混雑しているため遠回りしないと通行出来ないような状況であり県道だけでは対応しきれないことが考えられる。

【企画政策課 大島副課長】

交通量が変われば、当然それに見合った道路の整備が必然となって来るため、時代に合ったまちづくりをしていきたいと考えている。

○現在、寺周辺の交通量が非常に増えていると感じている人が多いと思う。今年、上沼道が寺から三和方面まで部分的に供用を開始し、今後は更に延伸して、数十年先にはなると思うが最終的に六日町まで結合した際には、高速道路よりも上沼道を通る車両の方が増えると考えている。県は、上越大橋の4車線化も検討しているようであり、新道地区の交通量が相当変わってくると思っている。

企画政策課③

【野口係長】

新道地区では芙蓉荘が今後どうなるのか。総合計画という大きな柱の中で、地域における公の施設の設置の有り方を総花的な話で良いので聞かせていただきたい。

※ 地域協議会委員に代わって事務局より確認

- 現在、見直しを行っている総合計画の中には、前回の協議会で行政改革推進課より提出があった資料中、公の施設の「施設カテゴリー」の区分の中で「広域拠点施設」は具体的に載っていた。
- 一方、地域協議会でも当初より議論されている、芙蓉荘等の地域に根差した施設の配置等についての方向性を今後どのように考えているのか教えて欲しい。(たとえば、既存の施設を有効活用して新たなものはつukらないとか、既存の施設を廃止するが機能を集約して新たな施設を新設する等)

【企画政策課 大島副課長】

総合計画では大きなものしか位置付けていないため、その他はどうするのかという話だと思う

人口的な問題と現在ある施設を今後どうするのかについてはこれまでも議論してきたが、今後更に本格的に、集中的に議論をする必要があると考えている。その中で、芙蓉荘を含めた個々の施設がどうあるべきか、また、各区にどのような施設があるべきかについても合わせて議論するべきと考えている。各課としても施設の在り方については議論すべき時期になっていると感じている。

- 現在、市では、人口が年間約 1,500 人ずつ減少している。広域的な市町村合併をした中で、利用されていない、また利用者が少ない施設も多くあると考えている。
- 全市的な方針やそれぞれの計画の中で各課が入り混じりながら決定していくと考えている。

全体整理

【野口係長】

- 芙蓉荘を今後どうしたら良いのか、当初より議論があった。
- 説明の中で、市は財政的に厳しいため、新規施設は現実的には難しいと感じ取れたかと思う。
- その中で、新道区としては、どのようなニーズがあり、それによってどのような施設が必要なのか、これらについて既存の施設で代用できないのか等、今後は様々な角度から議論を深めていただきたい。
- 今後の自主的審議の議論の中で、地域協議会として検討してほしい。